

5 すべての子どもの学びを保障する支援

(1) いじめ・不登校等悩みを抱える児童生徒の支援

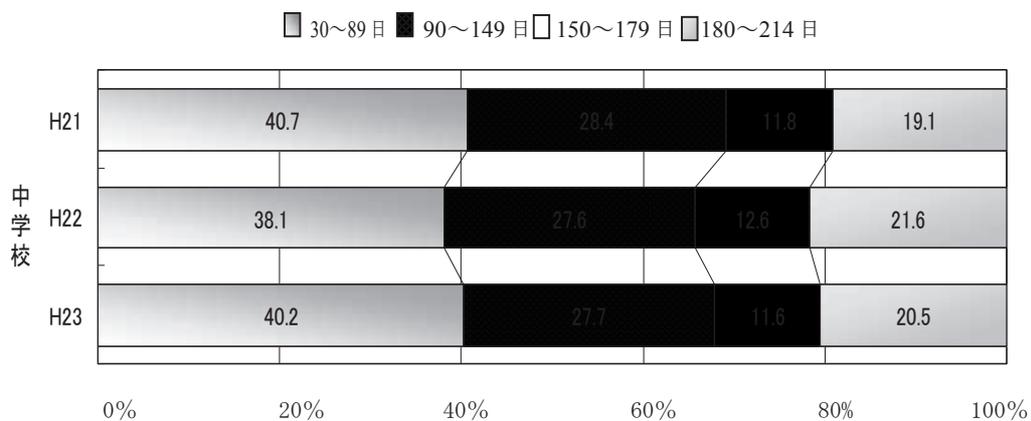
現状と課題

- 不登校・中退生徒の支援情報は、最終在籍学校から地域・関係機関に伝わりにくく、こうした若者が将来的に社会的孤立に陥る可能性が高いとの指摘があります。
- 小学校における不登校のきっかけの1つとして、家庭の問題があげられます。家庭の成育環境など、児童生徒の背景を含めて理解し、一人ひとりの状況に応じて対応していくためには、学校だけでなく医療・雇用・福祉・保健等の関係機関の情報や支援が必要です。
- 不登校が長期化してほとんど登校できない児童生徒の割合は、中学校で不登校生徒の2割に達しています。
- 中学校3年時に不登校だった生徒や高校中退生徒の10%以上が「家居」となっています。
- いじめの認知件数は年々減少していますが、他県で生徒の自殺といった深刻な事態が発生したり、パソコンや携帯電話等の手段によるいじめが教職員の気づかないところで行われている場合もあることから、問題兆候の把握、早期発見、迅速な解消が求められています。【再掲】
- いじめ問題を解決するため、各小中学校にはいじめ等対策委員会が設置されていますが、より効果的な活用方法について検討が必要です。【再掲】



いじめNO！県民ネットワークながの第1回運営委員会

図5－(1)－① 中学校欠席日数別不登校生徒数の割合 (H21～H23)



文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

成果目標

- 学校、家庭、地域、関係機関が連携した支援体制が整備され、不登校児童生徒の状況が改善されるようにします。
- 子どもたちが、安心して登校し、学校生活を送ることができるようにします。

測定指標

測定指標項目	現状値	平成29年度の目標	備考
小・中学校における不登校児童生徒の在籍率	1.14% (平成23年度)	1.08%以下	文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
学校と地域関係機関が連携したケース数	260件 (平成23年度)	400件	心の支援室調べ

主な施策の展開

いじめ・不登校等悩みを抱える児童生徒を支援するために、次のような取組を進めます。

① 不登校児童生徒の地域支援体制の整備

- 不登校やいじめなどの悩みを抱える子どもや保護者に対して、各教育事務所に生徒指導専門指導員、いじめ・不登校相談員、スクールソーシャルワーカー、指導主事等による支援チームを設置し、学校や地域における支援体制の充実を図ります。

【心の支援室】

- 地域の課題に沿ったきめ細かな支援を行うため、支援に関わる関係者を対象とした研究協議等を行います。【心の支援室】
- 学校における不登校児童生徒の状況に応じた教員配置により、不登校など課題を抱える児童生徒に対する適応指導・支援を行います。【義務教育課】



スクールカウンセラー活用促進リーフレット

② 不登校の未然防止と改善

- 幼稚園・保育所と小学校間、中学校と高等学校間における児童生徒の情報共有により、すべての子どもの「学び」を切れ目なくつなぎ、自立を支える学校教育の創造を図る支援を行います。【心の支援室】
- 発達段階に応じたキャリア教育の推進により児童生徒の人間関係形成力などの社会力を育成し、不登校の未然防止に取り組みます。【教学指導課、心の支援室】

- 人間性や社会性を育む自然体験活動を通じて、不登校児童生徒の支援を行います。
【文化財・生涯学習課】

③ 相談支援体制の充実

- 教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が連携してチーム支援体制を確立し、不登校児童生徒の学習支援と進路実現を図ります。【心の支援室】
- 民間団体の自立支援メニューなどを活用して、より多様な手法による相談支援体制の充実を図ります。【心の支援室】

④ いじめを許さない学校づくり【再掲】

- 人権教育、情報モラル教育等を推進し、いじめの未然防止を図るとともに、学校へのスクールカウンセラーの配置や心理専門相談員等による電話相談等の相談体制の充実によりいじめの早期発見、早期解消を図ります。【心の支援室】
- スクールソーシャルワーカーの配置などの支援体制の充実を図り、児童生徒の悩みの背景にある家庭や生活環境に起因する課題の解決を支援します。【心の支援室】
- インターネット掲示板・ブログ等の監視、教職員等への研修、学校への教材提供や学校のICT化をサポートする体制づくり等により児童生徒の情報モラル教育*を推進します。【教学指導課、心の支援室】
- NPOや不登校の子どもたちの支援について経験や知識を有する者等の協力を得ながら、地域、NPO、行政、県民が一体となっていじめの問題について行動できる体制づくりを進め、いじめ問題の解決に取り組みます。【心の支援室、次世代サポート課】
- いじめ等生徒指導上の問題で学校が対応に苦慮している事案に対して、医師・弁護士・心理士・福祉関係者など外部有識者からなる「いじめ等学校問題支援チーム」を組織し、専門的な助言や問題解決に向けた支援を実施します。【心の支援室】
- 道徳教育やコミュニケーション活動を重視した活動等を通じ、子どもたちがいじめを乗り越えていけるような集団づくりを推進します。【教学指導課、心の支援室】



児童会祭りで異年齢交流